

《担当者名》山下 佳久 (yoshiyama@hoku-iryo-u.ac.jp)

【概要】

公認心理師は、保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって「心理に関する支援を要する者に対し、その心理に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うこと」を業とする者とされている。本講義では、代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義とその適応や限界について専門的知識を修得する。さらに、心理支援の選択や調整、良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法、プライバシーへの配慮について、専門的知識を修得する。

【学修目標】

- 代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義とその適応や限界を説明できる
- 心理支援の選択や調整について説明できる
- 良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法を説明できる
- 心理療法及びカウンセリングの適用の限界を説明できる
- プライバシーへの配慮について説明できる

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	カウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界	カウンセリングと心理療法の歴史的背景	山下 佳久
2	カウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界	カウンセリングの構成要素、プロセス、実際に学ぶ	山下 佳久
3	代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応及び限界	パーソンセンタードアプローチ、エンカウンターグループを学ぶ	山下 佳久
4	代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応及び限界	フォーカシング、体験過程療法を学ぶ	山下 佳久
5	代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応及び限界	精神分析療法、精神力動的アプローチを学ぶ	山下 佳久
6	代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応及び限界	行動療法、認知療法を学ぶ	山下 佳久
7	代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応及び限界	家族療法を学ぶ	山下 佳久
8	代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応及び限界	集団療法、グループカウンセリング、サイコドラマを学ぶ	山下 佳久
9	代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応及び限界	芸術療法、表現療法、プレイセラピーを学ぶ	山下 佳久
10	代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応及び限界	緩和ケア、グリーフケア、グリーフカウンセリング、ロゴセラピーを学ぶ	山下 佳久
11	代表的な心理療法の歴史、概念、意義、適応及び限界	コミュニティアプローチを学ぶ	山下 佳久
12	良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法	共感的理解、傾聴、作業同盟、協働関係の構築など、良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法を学ぶ	山下 佳久
13	要支援者の特性や状況に応じた支援方法の選択、調整	生物心理社会モデル、ナラティブ・アプローチ、エンパワメント、ストレングスを学ぶ	山下 佳久

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
14	心理療法及びカウンセリングの適用の限界	エビデンスベースト・アプローチ、動機づけ面接、負の相補性を学ぶ	山下 佳久
15	プライバシーへの配慮	守秘義務、個人情報の保護、個人の尊厳と自己決定の尊重、インフォームド・コンセントについて学ぶ	山下 佳久

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

- ・授業内ミニテスト（30％）と期末テスト（70％）により評価する。
- ・授業内ミニテストへのフィードバックを随時行う。

【教科書】

教科書名：特定の教科書は指定しない。

【参考書】

末武康弘（2018）心理的支援法 誠信書房

諸富祥彦（2022）カウンセリングの理論 上

諸富祥彦（2022）カウンセリングの理論 下

基本的に本講義で配る資料を中心に講義を進めるが、上記の本を参考に資料を作る。また他にも読んでもらいたい参考書は適宜、指定する。

【備考】

- ・ノート作り、メモ書きは、各自で工夫して行うように努めること。
- ・ICTを取り入れた授業を行う。
Google classroomにおいて、適宜授業資料を配信する。
Google Formを利用して、授業後に理解度確認のための課題を提示する。

【学修の準備】

- ・本講義で配られた資料を事前に目を通すこと。（予習1時間）
- ・本講義で習った内容の整理・確認を行うこと。（復習1時間）
- ・ただの概念的理解に留まらず、日常生活における自分自身の体験や、周囲の出来事と関連付けられながら、実感を伴った理解を心がけてほしい。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

- ・心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得している。
 - ・社会の変化、科学技術の進展に合わせて、教養と専門性を維持向上させる能力を修得している。
 - ・社会の様々な分野において、心の問題を評価し、それを適切に判断し援助できる基礎的技能を修得している。
- 上記に掲げる心理科学部のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

公認心理師

【実務経験を活かした教育内容】

心理臨床経験を反映させた内容を提示し、理解を深めてもらう。